表１　利用者の意見の集約

大分類	件数	中分類	件数
制度運用についての要望	31件 21.2%	アフターフォロー	9
		情報発信	8
		対応	7
		フィッティング	2
		補装具製作技術	5
制度・政策に関する要望	5件 3.4%	制度利用	1
		他法との整合性	1
		対用年数	1
		費用負担	2
研究・技術開発への要望	10件 6.8%	関連技術の開発	7
		付属品の開発	3
義足製作に関する要望	28件 19.2%	アセスメント	3
		研究開発	6
		知識・技術	12
		フィッティング	3
		外観	4
義足への要望	27件 18.5%	技術開発促進	4
		軽量化	7
		全体	1
		足部	2
		ソケット	5
		耐久性	3
		継手	1
		日常生活外装具	4
感謝の言葉	19件 13.0%	義足	11
		製作・担当者	8
その他	26件 17.8%	その他	26
合　計	146	合　計	146

表２　利用者の家族の意見の集約

大分類	件数	中分類	件数
給付基準の見直し	69 件	耐用年数の見直し	20
		複数給付	14
		給付対象品の拡大	10
		給付基準額の見直し	7
		対象者	9
		負担軽減	9
制度運用への要望	31 件	地域間での運用の違い	7
		申請方法	6
		継続利用の際の情報共有	3
		緊急対応	2
		制度運用への要望	2
		誤認識	5
		制度に関する説明不足	2
		判定機関の増設	1
		その他	3
申請から給付までの期間が長い	28 件	製作期間	18
		申請期間	10
申請に伴う負担	18 件	移動	13
		日程確保	5
判定への不満	16 件	判定方法への不満	10
		判定結果への不満	3
		判定に係る時間	3
情報提供	15 件	相談できる専門機関がない	6
		給付品対象品に関する情報提供	5
		全般	2
		その他	2
関係者・機関への不満・要望	15 件	事業所が少ない	7
		関係者の skill 不足への不満	4
		関係者の skill up の要望	4
給付品への要望・不満	10 件	製作技術	6
		給付品の不具合	3
		給付品	1
合　計	202	合　計	202

表３　義肢装具士・理学療法士・社会福祉士の意見

大分類	件数	中分類	件数
判定に関する不満・要望	34 件	判定結果への不満	9
		判定方法への不満	3
		判定基準への不満	1
		判定制度への不満	7
		判定に関わる専門職への不満	5
		判定による時間的拘束	4
		判定の際の経費負担	5
制度運用への要望	23 件	運用	5
		誤った制度理解・運用	3
		制度間運用格差	2
		地域間運用格差	2
		申請から給付までの期間が長い	1
		不正行為への対応	3
		関係職以外の関与	2
		採型・補装具制作費の拡大	4
		納入の際のコスト	1
制度への要望	12 件	行政用語への不満	12
給付基準の見直し	10 件	給付品の取扱い基準の明確化	6
		給付拡大	4
関係者・機関への不満・要望	3 件	関係職の SKILL　UP	2
		判定への肯定的意見	2
		誤認識	1
その他	2 件	その他	2
合計	86 件	合計	86

表４　補装具・治療用装具の公的給付制度と給付対象用具

区分		補装具(更生用)	治療用装具
法律	〔社会福祉系〕	障害者自立支援法(身体障害者対象) 児童福祉法	生活保護法
	〔社会保険系〕	労働者災害補償保険法 船員保険法 船員法 国家公務員災害補償保険法 地方公務員災害補償保険法 (介護保険法)	国民健康保険法 健康保険法 高齢者の医療の確保に関する法律(後期高齢者医療制度) 国家・地方公務員共済組合法 私立学校教職員共済組合法 日雇労働者健康保険法 自動車損害賠償保障法
性格と目的		(1)身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完、代替するもので、障害個別に対応して設計・加工されたもの (2)身体に装着(装用)して日常生活又は就学・就労に用いるもので、同一製品を継続して使用するもの (3)給付に際して専門的な知見(医師の判定書又は意見書)を要するもの 以上をすべて満たすもの	治療上必要なもので疾病障害等の回復改善を図る
種目		義肢装具(殻構造・骨格構造) 座位保持装置 車いす　電動車いす(介護保険法は車いすの一部のみ) 歩行器　歩行補助つえ　盲人安全つえ 義眼　眼鏡　補聴器　重度障害者意思伝達装置 座位保持いす(児のみ) 起立保持具(児のみ)　頭部保護具(児のみ) 排便補助具(児のみ)	健康保険法の対象となる治療用装具　練習用仮義足
身体条件		障害が固定し永続する場合	症状が変化する場合 (急性期～亜急性期)
使用期間		日常的・継続的に使用する耐用年数が定まっている破損消耗の場合は、再交付／修理が認められる	不定／短期間の場合が大半である引き続き同じ種類のものの支給は認められない
その他		〔社会保険サービス〕両方給付できる制度であるが、身体的状況　使用目的、種目などの限定条件がある	

利用者のニーズに基づく補装具費支給制度の改善策に関する調査研究
2．補装具新規支給判定における完成用部品実数調査

研究分担者　樫本　　修　宮城県リハビリテーション支援センター
所長
研究分担者　筒井 澄栄　国立障害者リハビリテーションセンター研究所
障害福祉研究部　心理実験研究室長

研究要旨

全国の身体障害者更生相談所 79 カ所に対して、平成 22 年度における義手、義足、座位保持装置 3 種目の新規判定事例についてアンケート調査を行い、75 か所（回収率 94.9%）から回答が得られた。1 年間で義手 219 件、義足 1,693 件、座位保持装置 1,516 件が新規に処方された。義手では手先具、義足では継手・足部、座位保持装置では支持部と構造フレームにつき実際に処方された完成用部品の実数、高頻度処方品目の特徴、機能をまとめた。新規処方義手の 9 割が装飾用義手であった。義足では高齢者ほど安価な継手、足部が処方されていた。高額な部品使用者ほど活動度が高く、就労していた。座位保持装置で最も多かったモールド型の 4 分の 1 では支持部が外部発注であり、既製品の支持部も多く処方されていた。切断者の高齢化、低活動化を反映して安価で低機能なパーツが高頻度に処方されていた。更生相談所の判定おいては、対象者のプロフィールやニーズに応じた完成用部品の選択が適切になされていると考えられた。

はじめに

障害者自立支援法における補装具費支給制度において補装具費の支給を決定するのは市町村である。決定にあたり、義肢、装具、座位保持装置、補聴器、車いす（オーダーメイド）、電動車いす及び重度障害者用意思伝達装置の新規支給に係る申請については、身体障害者更生相談所（以下、更生相談所）に対して判定依頼をすることとされている。判定依頼を受けた更生相談所は利用者の医学的判定を行い、障害状況、プロフィール、生活環境、ニーズ等を勘案して国が定めた支給基準にのっとり、適切な完成用部品を選択し、補装具の処方を行う。これまで、補装具の種目別処方件数は、厚生労働省がまとめる社会福祉行政業務報告（福祉行政報告例）で示されてきたが、実際にどの完成用部品がどの程度処方されたかについてのデータはこれまでにも明らかにされたことがない。本研究では、支給基準で定められた完成用部品の使用頻度が高い義手、義足、座位保持装置の 3 種目における新規支給に焦点を当て、実際に処方された完成用部品の実数調査を行ったので報告する。

1．研究の目的

今後の補装具費支給制度における体制の検討、補装具の安全面の確認などに対する基礎データの収集と義手、義足、座位保持装置の利用者のニーズやプロフィールと実際に処方された完成用部品の比較・検討を行い、更生相談所の判定の傾向や高頻度に処方される完成用部品の理解を深め、今後の補装具判定に資することを目的とした。

２．調査対象・方法

調査対象は、全国の更生相談所における平成22年度に判定した義手、義足、座位保持装置の新規支給の全事例（児童の判定例は含まない。児童で支給歴がある場合でも者（18歳以上）として新規の事例を含む。）とした。

調査項目は、義肢（義足・義手）については、義肢の名称、年齢、性別、職業、活動度、作製のニーズ、型式、完成用部品名、義肢全体の価格とし、座位保持装置については、年齢、性別、障害状況、生活の場、作製のニーズ、主な使用場所、支持部の名称、完成用部品名、装置全体の価格とした。

平成23年度現在における全国の身体障害者更生相談所79カ所（支所を含む）に調査用フォームをメール送信し、平成23年9月～12月にかけてメールで回答を得た。

得られたデータをもとに分析ファイルを作成し、義肢、座位保持装置事例のプロフィールと実際に処方された完成用部品の基本データをまとめた。高頻度に処方された部品名と処方数、主な構造・機能、基準額を表にまとめた。

義手では型式と年齢、性別、活動度、職業の有無の関係を分析した。また、筋電義手処方例の基本情報をまとめた。

義足では、価格と年齢、価格と活動度、職業の有無の関係を分析した。また、高額な膝継手であるハイブリッドニーとコンピューター制御（インテリジェント）膝継手処方例の基本情報をまとめた。

さらに、大腿義足と下腿義足に分けて価格と年齢、活動度、職業の有無による統計学的検討を加えた。処方された膝継手と足部の機能分類による処方頻度の分析、膝継手と足部の基準額による群別に分けた年齢、活動度、職業の有無の比較を行った。

３．倫理的配慮

質問事項は回答から利用者の個人が特定できない内容のみである。回答のあった更生相談所名が分からないようにして分析ファイルを作成した。報告書内に個別の更生相談所名は現れないよう配慮した。また、本報告では、完成用部品の個別名称、価格、企業名を記載するが、利益相反に関係する企業はない。

４．結果

79カ所中75カ所から回答が得られた（回収率94.9%）。以下に、義手、義足、座位保持装置処方例の基本データを示す。

Ⅰ．義手基本データ

１）年間義手処方数

回答のあった75カ所中義手の処方判定は59カ所（74.7%）で行われた。新規事例として義手の処方がない相談所が約25%あった。処方数は219件／年であった。

２）新規義手処方例のプロフィール

（１）性別：男性149名（68.0%）、女性69名（31.5%）、不明1名（0.5%）

（２）年齢：18～91 歳。平均 59.2 歳±48.8（mean±SD）

（３）職業：有職者 74 名（33.8%）、無職 79 名（36.1%）、不明 66 名（30.1%）

（４）活動度：活動度が高い方が最も多く、37%であった。活動度が低い方は 6.4%に過ぎなかった。

活動度	N	%
高い	81	37.0
普通	62	28.3
低い	14	6.4
不明	62	28.3
合計	219	100.0

＊活動度

高い：就労、余暇、買い物など外出の機会が多い生活をしている。

普通：家事も含め軽労働に限られ、たまに外出する程度の生活。

低い：あまり外出することもなく屋内での生活が多い。

３）義手作製のニーズ

義手作製のニーズ	
1．本義手を作りたい	102
2．破損・老朽化	83
3．ソケット不適合	6
4．軽量化	5
5．新しい、より高機能な部品に期待	5
6．スペアを作りたい	0
7．その他（具体的に記入）	32
合計	219

義手作製のニーズで最も多かったのは「本義手を作りたい」の 102 件（46.6%）であった。次にこれまで使用してきた義手（医療保険で作製など）の「破損・老朽化」の 83 件（37.9%）であった。「新しい、より高機能な部品に期待」というニーズは非常に少なかった（5 件、2.3%）。その他の具体的な記入では、「見た目・外観」へのニーズが 15 件、ＡＤＬ、作業の能力改善を望むものが 6 件などであった。

４）義手の名称・型式

義手の名称（すなわち切断高位）で最も多かったのは、前腕義手と手部義手で 57 件（26.0%）ずつであった。次いで手指義手、上腕義手の順であった。

型式では、装飾用 189(86.3%)、能動式 11(5.0%)、作業用 14(6.4%)、筋電 5（2.3%）と装飾用が 9 割近くを占めた。一方、障害者自立支援法では特例補装具となる筋電義手の処方例が 5 件あった。

義手の名称	件数	%
肩義手	14	6.4
上腕義手	32	14.6
肘義手	1	0.5
前腕義手	57	26
手義手	15	6.8
手部義手	57	26
手指義手	43	19.6
合計	219	100

型式	件数	%
装飾用	189	86.3
能動式ハンド型	3	1.4
能動式フック型	8	3.7
作業用	14	6.4
筋電義手	5	2.3
合計	219	100

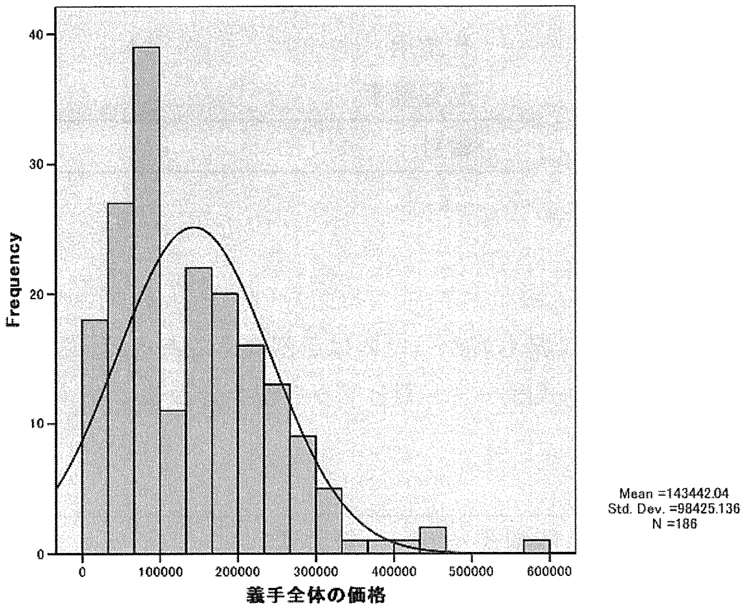
名称と型式の関係を次に示す。装飾用の中で最も多かったのは手部義手であった。次いで前腕義手、手指義手、上腕義手の順であった。能動式はハンド型とフック型を合わせて 11 件であったが、うち前腕義手が 5 件であった。

名称・型式	装飾用	能動式 ハンド型	能動式 フック型	作業用
肩義手	13	1		
	6.9%	33.3%		
上腕義手	28	2	1	1
	14.8%	66.7%	12.5%	7.1%
肘義手	1			
	0.5%			
前腕義手	43		5	4
	22.8%		62.5%	28.6%
手義手	13		1	1
	6.9%		12.5%	7.1%
手部義手	51		1	5
	27.0%		12.5%	35.7%
手指義手	40			3
	21.2%			21.4%
Total	189	3	8	14
	100%	100%	100%	100%

不明もあり、他の表と総数が異なる。

５）義手全体の価格

義手全体の価格は、13, 402～2, 039, 338 円で平均 181, 568±256, 273 円（mean±SD）であった。高額な筋電義手を除いた 100 万円以下の義手の価格の分布図を示す。



型式	個数	最低価格	最高価格	平均価格	標準偏差
装飾用	165	13, 402	440, 016	138, 732	90, 366
能動式ハンド型	3	401, 082	575, 409	479, 585	88, 445
能動式フック型	6	25, 647	276, 637	170, 725	93, 587
作業用	12	41, 766	218, 823	110, 534	55, 121
筋電義手	5	1, 254, 179	2, 039, 338	1, 599, 864	299, 189

（価格が不明であったものを除く。）

型式別に義手の価格をみると、装飾用の平均価格は約 14 万円、能動式ハンド型が約 48 万円、能動式フック型が約 17 万円、作業用が約 11 万円、筋電義手が約 160 万円であった。

６）義手の完成用部品（手先具）

219 件の義手の完成用部品のうち手先具として処方されているものにつき、能動ハンド、能動フック、装飾ハンド、装飾手袋、電動ハンドに関しては実際の部品名と処方数、機能、特徴、完成用部品の価格を調べた。処方数のうち最も多かったのは装飾手袋（コスメチックグラブ）で 177 件（80.8%）であった。

手先具	件数	%
能動ハンド	2	0.9
能動フック	7	3.2
装飾ハンド	9	4.1
装飾手袋	177	80.8
作業用手先具	7	3.2
電動ハンド	5	2.3
完成用部品の使用なし	9	4.1
不明・記載なし	4	1.8
合計	219	100.0

装飾用手先具処方頻度上位

品名	処方数	機能・特徴	価格
佐藤 5 - 8P	29	装飾ハンド（骨格構造）　パッシブハンドインナーのみ	23,600
佐藤 4 - 91X	24	装飾手袋（コスメッチクグラブ）　手袋式（4, 5 本指）、X コート加工	52,100
佐藤 5 - 44	16	装飾手袋（コスメッチクグラブ）　シルクグローブ（シリコン）芯なし	96,800
佐藤 6 - 91X	15	装飾手袋（コスメッチクグラブ）　差込式カラーキャップ　X コート加工	16,300
佐藤 4 - 8P5	13	装飾ハンド　パッシブフィンガー5 本指用	26,200
佐藤 5 - 92X	12	装飾手袋（コスメッチクグラブ）　回転付（木部付）カラーグローブ　X コート加工	56,800
佐藤 3 - 452	12	装飾手袋（コスメッチクグラブ）　前腕部のみシルグローブ	35,500
佐藤 4 - 45	10	装飾手袋(コスメッチクグラブ)　全指手袋式シルグローブ(芯、マジック、シリコンインナーソケット）	130,700
佐藤 3 - 93X	9	装飾手袋（コスメッチクグラブ）　前腕部付手掌回転なしカラーグローブ　X コート加工	66,000
佐藤 4 - 92X	9	装飾手袋（コスメッチクグラブ）　手袋式（2, 3 本指）カラーグローブ　X コート加工	46,200

能動式手先具

品名	処方数	機能・特徴	価格
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 8K20	1	能動ハンド　随意開き式	60,700
ﾎｽﾏｰ APRL	1	能動ハンド　ＡＰＲＬハンド、フック	262,600
ﾎｽﾏｰ 10X	1	能動フック　アルミニウム　ネオブレン	51,900
ﾎｽﾏｰ 5X	1	能動フック　ステンレス　ネオブレン	56,300
ﾎｽﾏｰ 5XA	1	能動フック　アルミニウム　ネオブレン	58,400
ﾎｽﾏｰ 8	1	能動フック　ステンレス	48,900
ﾎｽﾏｰ 88X	2	能動フック　アルミニウム　ネオブレン	58,400
啓愛 KI-H-012-L	1	能動フック　ステンレスフック大	34,100

筋電義手４例（５肢）事例

年齢	性	職業名	活動度	作製ニーズ	完成用部品名	電動ハンドの価格	義手全体の価格
29	男	会社員	普通	本義手を作りたい	ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 8E38=8（右）	1,212,500	2,039,338
29	男	会社員	普通	本義手を作りたい	ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 8E38=6（左）	596,200	1,404,549
52	男	農業	高い	破損・老朽化	ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 8E38=6	596,200	1,254,179
35	男	医学部学生	高い	本義手希望 高機能な部品に期待	ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 8E44=7	692,500	1,618,078
73	女	不明	不明	本義手を作りたい	ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 8E38=6	596,200	1,683,174

第１例目と２例目は同一人の左右である。

Ⅱ．義足基本データ

１）年間義足処方数

回答のあった 75 カ所中義足の処方判定は 75 カ所（100%）全てで行われた。新規事例として義足の処方がない更生相談所はなかった。処方数は 1,693 件／年であった。

２）新規義足処方例のプロフィール

（１）性別：男性 1,294 名（76.4%）、女性 399 名（23.6%）

（２）年齢：18～98 歳。平均 61.5 歳±15.1（mean±SD）

（３）職業：有職者 251 名（14.8%）、無職 901 名（53.2%）、不明 540 名（32.0%）

（４）活動度：活動度が普通の方が最も多く、32.8%であった。活動度が低い方も 22.9%に及んだ。

活動度	件数	%
高い	304	18.0
普通	556	32.8
低い	388	22.9
不明	445	26.3
合計	1693	100.0

＊活動度
高い：就労、余暇、買い物など外出の機会が多い生活をしている。
普通：家事も含め軽労働に限られ、たまに外出する程度の生活。
低い：あまり外出することもなく屋内での生活が多い。

３）義足作製のニーズ（重複回答あり）

義足作製のニーズで最も多かったのは「本義足を作りたい」の 1,193 件（70.5%）であった。次にこれまで使用してきた義足（医療保険で作製など）の「ソケットの不適合」の 519 件（30.7%）であった。「新しい、より高機能な部品に期待」というニーズは 28 件（1.7%）と少なかった。現在使用中のものがあってもスペア（替え義足）を作りたいというニーズが 13 件あった。実際の判定の場面では、本義足を作製する時に、これまで使用してきた義足を修理して欲しいという要望が多い。他の具体的な理由では、歩行能力の向上、ＡＤＬ改善を目的とするものが多かった。

作製のニーズ	件数	%
1．本義足を作りたい	1193	70.5
2．破損・老朽化	380	22.4
3．ソケット不適合	519	30.7
4．軽量化	42	2.5
5．新しいより高機能な部品に期待	28	1.7
6．スペアを作りたい	13	0.8
7．その他（具体的に記入）	75	4.5

4）義足の名称・型式

義足の名称	件数	%
股義足	15	0.9
大腿義足	372	22.0
膝義足	11	0.7
下腿義足	1165	68.8
果義足	30	1.8
足根中足義足	73	4.3
足指義足	19	1.1
不明	8	0.5
合計	1693	100.0

型式	件数	%
受け皿式	3	0.2
カナディアン式	14	0.8
差込式	126	7.4
吸着式	113	6.7
ライナー式	561	33.1
ＰＴＢ式等	768	45.4
有窓式	22	1.3
その他	82	4.8
未記入	4	0.2
Total	1693	100.0

義足の名称（すなわち切断高位）では下腿義足が最も多く、全体の 68.8%を占め、次いで大腿義足 22.0%と両者で 9 割を超えた。

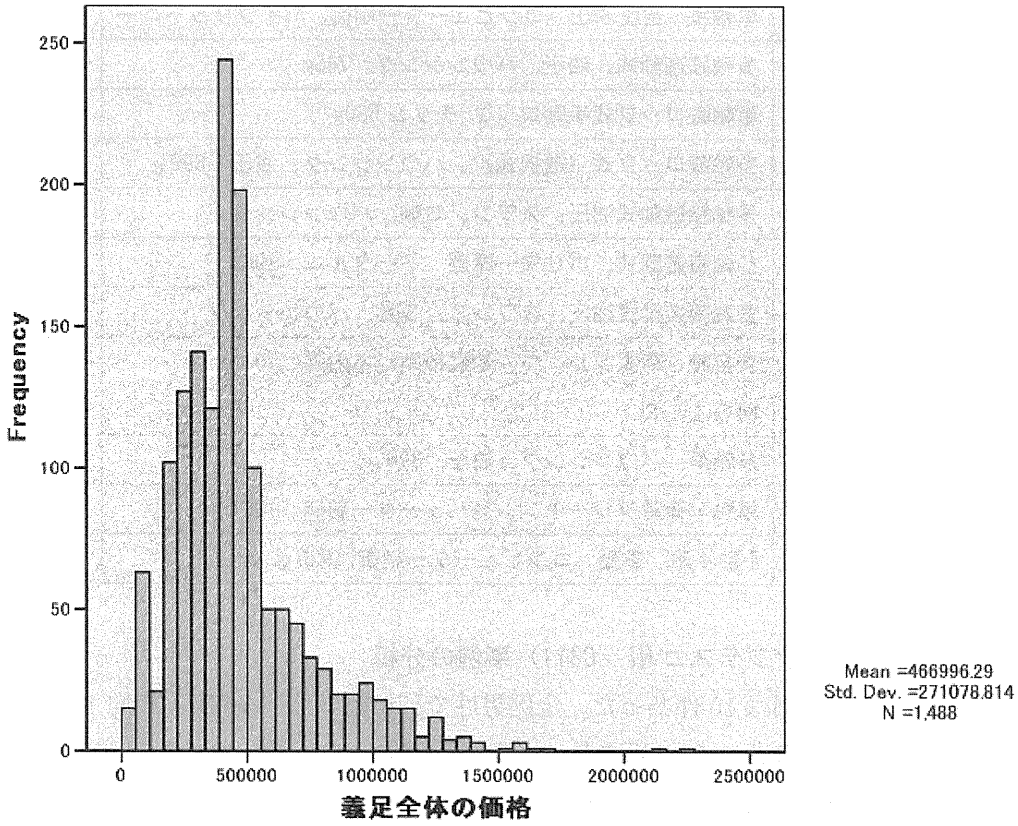
型式ではＰＴＢ式等（ＰＴＳ式、ＫＢＭ式を含む）が最も多く（45.4%）、次いでライナー式（33.1%）で、両者で 8 割近くを占めた。差込式、吸着式は 1 割以下であった。

5）義足全体の価格

義足全体の価格は、33,327～2,232,164 円、平均 767,746±270,312 円（mean±SD）であった。義足の名称、型式と価格の関係を下記に示す。（価格未記入の回答があるため上記の票と個数は異なる。）

義足の名称	個数	最低価格	最高価格	平均価格	標準偏差
下腿義足	1025	85,644	1,263,192	396,792	137,452
大腿義足	336	186,533	2,232,164	781,583	311,671
足根中足義足	64	37,080	264,710	75,865	37,225
果義足	24	67,156	463,036	185,795	93,374
足指義足	16	33,327	163,461	66,882	33,575
股義足	14	269,036	1,389,521	862,183	286,865
膝義足	10	230,627	1,003,580	544,809	188,530
未記入	8	56,856	979,015	373,607	350,127

型式	個数	最低価格	最高価格	平均価格	標準偏差
ＰＴＢ式等	638	52, 839	1, 180, 071	364, 022	147, 872
ライナー式	542	205, 279	2, 232, 164	583, 597	273, 255
差込式	112	50, 367	1, 386, 865	423, 836	237, 241
吸着式	101	265, 688	1, 608, 757	798, 088	273, 078
有窓式	19	77, 662	393, 305	179, 701	65, 961
カナディアン式	13	654, 662	1, 389, 521	920, 055	229, 364
受け皿式	3	269, 036	1, 151, 700	689, 278	442, 841
その他	66	33, 327	578, 654	89, 967	89, 510
未記入	3	56, 856	78, 589	67, 757	10, 867



６）完成用部品（継手・足部）

1, 693 件の義足の完成用部品のうち膝継手と足部につき検討した。

（１）膝継手

膝継手の処方が必要となる股義足、大腿義足、膝義足は 398 件であった。そのうち使用された膝継手の頻度順に以下に示す。実際の部品名と処方数、機能、特徴、完成用部品の価格を調べた。下記の 20 品目で 287 処方（72%）を占めた。

膝継手処方頻度上位

品名	処方数	機能・特徴	価格
ﾗﾎﾟｯｸ SL0701	36	軽量単軸膝手動ロック、280g	59,400
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R106	32	多軸膝遊動式　四節リンク、空圧。760ｇ	242,000
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R60-EBS	24	多軸膝遊動式、油圧、バウンシング。845g	472,500
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R40	22	単軸膝ロック式手動ロック。290ｇ	50,200
ﾗﾎﾟｯｸ SL0702	21	軽量単軸膝手動ロック、Mｇマグネシウム	145,200
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R49	20	安全膝　荷重ブレーキ、チタン製。360g	147,000
ｾﾝﾁｭﾘｰ 22TK2000	15	多軸膝遊動式、油圧　トータルニ―2000	363,400
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R15	14	安全膝　荷重ブレーキ　490ｇ	63,800
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R41	14	単軸膝手動ロック、プラスチック、385g	84,700
ﾅﾌﾞﾃｽｺ NI - C311	10	単軸膝・空圧油圧　コンピューター制御、ハイブリッドニー	836,500
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R60-PRO	10	多軸膝遊動式、油圧、バウンシング。745g	492,500
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R33	10	単軸膝ロック式手動ロック チタン 530g	137,900
ﾅﾌﾞﾃｽｺ NK-6+L	9	多軸膝ロック式（選択式）、バウンシング、油圧　890ｇ	402,500
ﾗﾎﾟｯｸ M0780	9	多軸膝遊動式油圧、スワン、５軸、バウンシング	323,500
ｾﾝﾁｭﾘｰ 22ＴＫ1900	9	多軸膝遊動式、ポリマー摩擦　トータルニ―1900	251,800
ﾗﾎﾟｯｸ M0781	7	多軸膝遊動式油圧、スワンＳ、５軸、バウンシング	254,100
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 3R90	7	安全膝　荷重ブレーキ、伸展補助バネ内臓　700ｇ ＭＧ１－２	217,800
ﾅﾌﾞﾃｽｺ NK-6	6	多軸膝、バウンシング、油圧　890ｇ	372,500
ﾅﾌﾞﾃｽｺ NI - C111t	6	単軸・荷重ブレーキ　コンピューター制御　1097ｇ	341,500
ﾅﾌﾞﾃｽｺ NI - C411	6	４軸４節　多軸　コンピューター制御　930ｇ	356,500

（２）ハイブリッドニー（ナブテスコ NI - C311）事例の分析

ハイブリッドニー処方事例は 10 件あった。全例男性で、年齢は 25～70 歳、平均 43.0 歳±11.7（mean±SD）であった。有職者６名（運送業、児童施設職員、自営業、会社員、義肢装具士、公務員）、無職３名、不明１名であった。活動性は「高い」が８名、「普通」１名、不明１名で最高齢者の 70 歳事例は無職ではあっても活動性は「高い」であった。

義足全体の価格は、継手の交換のみを行った１事例を除いて、1,227,502～2,232,164 円、平均 1,577,913 円±287,368（mean±SD）であった。足部との組み合わせでは、記載のあった８例でオットーボック 1C40（SACH 足部、エネルギー蓄積、高機能、229,900 円）２例、フリーダムイノベーションズ RS2000（SACH 足部、エネルギー蓄積、高機能、322,500 円）２例、オットーボック 1E57（SACH 足部、エネルギー蓄積、高機能、350,500 円）、オズール VLPO-SIZE（ SACH 足部、エネルギー蓄積、高機能、239, 600 円）、フリーダムイノベーションズ FS3000（SACH 足部、エネルギー蓄積、高機能、205,700 円）と活動性の高い事例にはいずれも高機能、高額な足部が組み合わされていた。無職で活動性が「普通」の１例には、オットーボック１D35（SACH 足部、エネルギー蓄積、中活動用、9,200 円）が使用されていた。

（3）コンピューター制御膝継手事例の分析

遊脚相をコンピューター制御する膝継手処方事例は17件あった。男性15名、女性2名で、年齢は20〜70歳、平均38.6歳±16.3（mean±SD）であった。有職者4名（ボーリング場勤務、会社員外勤、公務員、店員）、無職7名、不明6名であった。活動性は「高い」が4名、「普通」7名、不明6名で最高齢者の70歳事例は無職ではあっても活動性は「高い」であった。

義足全体の価格は、798,507〜1,612,053円、平均1,053,976円±244,412（mean±SD）であった。製品名は、ナブテスコNI-C111t（安全膝、空圧コンピューター制御、単軸荷重ブレーキ付、341,500円）6名、ナブテスコNI-C411（多軸膝、空圧コンピューター制御、4軸4節、356,500円）6名、ナブテスコNI-C111(安全膝、空圧コンピューター制御、347,300円)4名、高崎TGK-5PSOIC（多軸膝、空圧コンピューター制御、5軸、612,500円）1名であった。

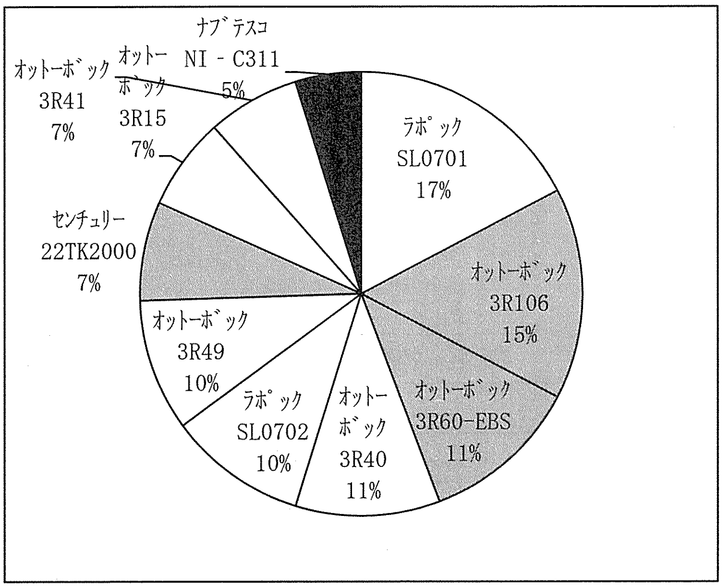
（4）足部

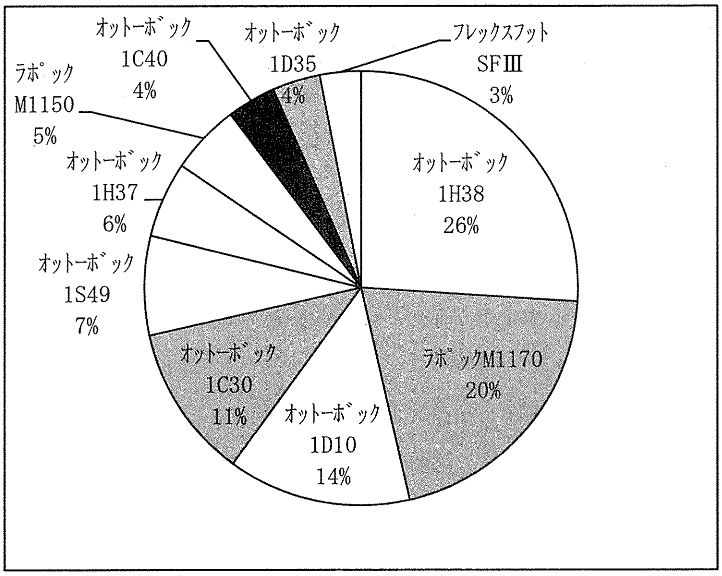
足部の処方が必要となる股義足、大腿義足、膝義足、下腿義足は1,569件であった。そのうち使用された足部の頻度順に以下に示す。実際の部品名と処方数、機能、特徴、完成用部品の価格を調べた。下記の20品目で1,364処方（87%）を占めた。

足部処方頻度上位

品名	処方数	機能・特徴	価格
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 1H38	314	単軸足部指付	23,000
ﾗﾎﾞｯｸ M1170	246	SACH足部　J-foot　エネルギー蓄積型足部	94,400
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 1D10	165	SACH足部　ダイナミックフット　木製キール	36,400
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 1C30	138	SACH足部　トライアス、低中活動、エネルギー蓄積型足部	116,200
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 1S49	89	SACHフット指付　木製キール長い、安定性高い	18,500
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 1H37	68	単軸足部指付（殻構造）	27,400
ﾗﾎﾞｯｸ M1150	63	単軸足部　スーパーフット	29,200
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 1C40	44	SACH足部　Cウォーク。活動3-4軽スポーツ　エネルギー蓄積	229,900
ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 1D35	43	SACH足部　ダイナミックモーション 活動2-3 エネルギー蓄積	92,000
ﾌﾚｯｸｽﾌｯﾄ SFⅢ	37	SACH足部　シュアフレックス　低活動者用	87,100
ｵｽﾞｰﾙ ELPO - SIZE	26	単軸足部　油圧による差高調整。キールによるエネルギー蓄積、底〜中	248,900
ﾌﾚｯｸｽﾌｯﾄ F･F - VARI - SP	22	SACH足部　バリフレックス　スプリットトゥ　低〜高エネルギー蓄積	288,000
ﾗﾎﾞｯｸ M1100	21	単軸足部　日常生活用	17,200

ﾌﾚｯｸｽﾌｯﾄ F0176	20	多軸足部　一体型多軸関節　Ｋ２センセーション　低活動、屋内歩行専用	40,900
ﾗﾎﾟｯｸ M1180	19	SACH 足部　日常生活用　エネルギー蓄積足部	63,400
ｵｽﾞｰﾙ VLPO - SIZE	13	SACH 足部　ロープロファイル・バリフレックス　中～極高　歩行速度に追随	239,600
啓愛 A1 - 8 - N	11	単軸足部　単軸足継手と接続	27,500
小原 38B－010, 020	9	単軸足部　殻構造用木足	12,000
ｶﾚｯｼﾞﾊﾟｰｸｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰ CPI - 01	9	多軸足部　カレッジパークフット　ほとんどの活動レベル対応　エネ蓄積	266,200
ﾌﾘｰﾀﾞﾑｲﾉｰﾍﾞｼｮﾝｽﾞ VS1000	7	SACH 足部　低～中活動用　エネルギー蓄積足部	84,100





上位処方数膝継手の特徴

処方数が最も多かったのは手動ロック式の軽量単軸膝（ﾗﾎﾟｯｸ SL0701）であった。処方数上位 10 品目までのうち低活動用の手動ロック式単軸膝が 4 品目 45%、荷重ブレーキ安全膝が 2 品目 17%と計 62%を占めた。中活動用の多軸膝、空圧・油圧制御が 3 品目 33%を占めた。

上位処方数足部の特徴

処方数が最も多かったのは単軸足部（ｵｯﾄｰﾎﾞｯｸ 1H38）であった 処方数上位 10 品目までのうち低活動用の単軸足部が 3 品目 37%、SACH 足部が 3 品目 24%と計 61%を占めた。中活動用のエネルギー蓄積足部が 3 品目 35%を占めた。

活動度
低
中
高

Ⅲ．座位保持装置基本データ

１）年間座位保持装置処方数

回答のあった 75 カ所中座位保持装置の処方判定は 71 カ所（94.7%）で行われた。新規事例として座位保持装置の処方がない相談所が約 5%あった。1 カ所の更生相談所で回答の都合上座位保持装置につき回答できないところがあった。処方数は 1,516 件／年であった。

２）新規座位保持装置処方例のプロフィール

（１）性別：男性 887 名（58.5%）、女性 627 名（41.4%）、不明 2 名（0.1%）

（２）年齢：18～94 歳。平均 35.4 歳±49.3（mean±SD）

（３）障害状況：複数回答あり

座位保持装置を必要とする障害状況で最も頻度が高かったのは脊柱側彎で半数以上の 51.5%であった。次いで痙直型麻痺で 45.1%、言語によるコミュニケーション不可能 41.1%であった。

障害状況	N	%
言語によるコミュニケーション可能	235	15.5
言語によるコミュニケーション不可能	623	41.1
脊柱側彎（そくわん）あり	780	51.5
脊柱側彎（そくわん）なし	96	6.3
痙直型麻痺（筋緊張が強い）	684	45.1
弛緩性麻痺（筋緊張が弱い）	209	13.8
不随意運動がある	216	14.2
その他	172	11.3
未記入	13	

（４）生活の場：座位保持装置を使用する場は在宅が 61.9%、施設が 36.9%であった。

生活の場	N	%
在宅	938	61.9
施設	559	36.9
未記入	19	1.3
合計	1516	100.0

3-）座位保持装置作製のニーズ（重複回答あり）

座位保持装置を新規に作製するニーズの中で最も多かったのは車いすからの変更で 35.8%を占めた。次いでこれまで使用してきた座位保持装置（児童で作製したもの）の支持部の不適合 29.3%、破損・老朽化 25.7%であった。

作成ニーズ	N	%
1．破損・老朽化	389	25.7
2．支持部不適合	444	29.3
3．新しいより高機能なものを要望	77	5.1
4．車いすからの変更	542	35.8
5．その他	321	21.2

4）座位保持装置の主な使用場所（重複回答あり）

座位保持装置の主な使用場所は自宅内（屋内用）が最も多く、次いで入所施設、通所施設の順であった。車載用・送迎用としての目的が7.5%あった。

主な使用場所	件数	%
自宅内	594	39.2
入所施設	552	36.4
通所施設	344	22.7
送迎・車載	113	7.5
その他	133	8.8

5）支持部の名称

支持部名称	件数	%
1．平面形状型	177	11.7
2．モールド型	985	65
3．シート張り調節型	388	25.6
4．その他	18	1.2

支持部名称	件数	%
平面形状型	113	7.5
モールド型	718	47.4
シート張り調節型	159	10.5
その他	16	1.1
体幹：平面形状型、骨盤・大腿：平面形状型	4	0.3
体幹：平面形状型、骨盤・大腿：モールド型	35	2.3
体幹：平面形状型、骨盤・大腿：シート張り調節型	6	0.4
体幹：モールド型、骨盤・大腿：平面形状型	4	0.3
体幹：モールド型、骨盤・大腿：モールド型	27	1.8
体幹：モールド型、骨盤・大腿：シート張り調節型	77	5.1
体幹：シート張り調節型、骨盤・大腿：平面形状型	15	1

体幹：シート張り調節型、骨盤・大腿：モールド型	124	8.2
体幹：シート張り調節型、骨盤・大腿：シート張り調節型	5	0.3
体幹：シート張り調節型、骨盤・大腿：その他	3	0.2
未記入	210	13.9
Total	1516	100

支持部の名称で最も多かったのはモールド型で65%を占め、次いでシート張り調節型が25.6%であった。体幹部は張り調節型で、骨盤・大腿部をモールド型で作製するなどの混合型も多くみられている。

６）座位保持装置全体の価格

価格の記載のあった1,121個の座位保持装置で全体での価格は、平均361,065円±213,838(mean ±SD）であった。回答のあった座位保持装置の中には、既製品のクッションチェア、完成用部品のクッションだけなどの価格から電動車いすを構造フレームとした高額な座位保持装置までの回答が混在していたため標準偏差が大きく、ばらつきがみられた。

７）完成用部品

（１）支持部

座位保持装置の支持部を全て工房等製作業者で作製せずに何らかの完成用部品を使用した新規処方例を調査した。上位20品目が全座位保持装置数1,516件に対して915件（61.0%）使用されていた。具体的な製品名を次に示す。特に、アシスト社製のフルオーダー体幹支持部、骨盤大腿部が404件（26.7%）に使用されていた。

座位保持装置支持部処方頻度上位

完成用部品名	件数	%	支持部位・備考	価格
ｱｼｽﾄ ASS-HG-002	207	13.7	体幹部　フルオーダー背もたれ	57,800
ｱｼｽﾄ ASS-HG-003	197	13.0	骨盤・大腿部　フルオーダー座面	57,800
ｼﾞｪｲ 2100 など	114	7.5	骨盤・大腿部　Ｊ２クッション	54900、61,200
ｳｨｯﾄﾏｲﾔｰ PRO	56	3.7	頭部　ヘッドレストＰＲＯ	15,200
ｻﾝﾗｲｽﾞ ﾒﾃﾞｨｶﾙ JFB-14 など	47	3.1	体幹保持バックサポート	119,800
西川 0008	37	2.4	骨盤・大腿部　CAD-CAM モールドクッション	56,100
ｼﾞｪｲ 2514Ｋなど	36	2.4	体幹部　Ｊ２バック	56,000
西川 0007	32	2.1	体幹部　CAD-CAM モールドクッション	56,100
ｱｼｽﾄ ASS-HG-001	31	2.0	頭部　フルオーダーヘッドレスト	29,500